

十七年六月二日今社ニ交渉スルノトコリ是セリ故ニ此を此ノ決議ニ付
シ及前セラルニ於テハ立々團体ハ同然事無合團體ヨリノ離レ
由行動ニシテノキト前支拂セシムトナカニ午後一時半取扱会
セリ

兵庫分工場平職工六十名各ハ二十日ノ正則ハ防兵庫正直實業
部会合シ會未ハ未申時、実行委員会トリタル開催上何レモ、職者サ
タニ依リ今國更ニ各組ヨリ一名ハ未申時五十五送シ（勝田松太郎外十名當
選）今后一交渉ニ当ラ、シムロトセリ高貴ルナハ因友島慶久本部ニ於ケル
同最高幹部今議三終テ幹部中既ニ職者サレタル者ニシテ感傷的ニ古ク
利益得失校ニ開催スハハ不都合ナート提議スルモノア一十九日再入
1、会合ニ於テ知見川豊之彦等モ右提議ノ理由ヲ説メ竟ニ職者者一
參言の權ヲ該ハ人モ決議、教ニ加ハル能ハサンコトニ決議シ又九趣ナリ
其事合ハ工場於テハ未ル未四日休章明ナ以後、能ハセラズ決スル爲ノ職
セリト云フ

ト、主張如何、引參駒セシムホツヨリハ四箇各工場一下、所屬職工ヲ皆
致シ其、意願書ヲ聽取シソ、テルカ之シガ未見リ給入貰シハ「職工一同
」行動ノ終テ最取高幹部ニ一往セリ往ニ今後ノ動作一切幹部、捺押
據ケ渡スシコト及未灰五貝（廿四日ハ同照）ノ休章明ニハ（平井が通）
は勤就業スルコト但シ兩事起文件ハ飽直母與微、好ナカルニトニ一設

セリト云フ

（七月廿一日）

本社工作部工場長、住其中一室者九十六名ハ其一員弊の内ニ於ニ役付
職工同志三名全名、御印ヲ取締ソウニ上下午二時一向打揃ヽ本社
部会船具工場様ニ於ケルノ利側下今見シテハ本社ヨリ山本重義及
各係長之令、職工倒閑口工場長是處但食ハ得サヌ交々立シニハ事務
一現狀ト多數職工一空缺、狀ノ如クハ解決方ヲ怨然談シ度ニ一般職工ヨリ
既提出ト同稿一要制条件該条件中一条二条（主事一工場委員